

梨の花

市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木 1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

校長先生の苦手なこと

校長 清田 博之

（「梨の花」も発行できるのはあと僅か。また、校長からの「道徳の授業」というつもりで書かせていただくことにしました。）

今回は、「校長先生の苦手なこと」というお話をします。

私は、小さな時から「人と話すこと」（単なるおしゃべりではなく、「大勢の人や初対面の人と大切な事を話すこと」と「文章を書くこと」という2つの事がとても苦手でした。本を読むことは大好きだったのですが、「話す」「書く」については大人になってもずっと苦手意識をもったままでした。そんな私も教員になり、自然と「人と話す」「文章を書く」という機会が多くなりました。そのうち、「書く」については、読書や教室でのちょっとした感動や喜び、深く考えたことを他の人にも共感してほしくて、「学級だより」の形で保護者の人に出すようになりました。たまたま、保護者の方から感想をいただき、自分の想いを共感してもらえたという喜びを経験することができました。そんなことを繰り返すうちに苦手意識は多少薄らいでいきましたが、今でも基本的に「文章を書く」ということは苦手です。（この「梨の花」を書くことも含めてです。）

私にとってもっと厄介な事は「話すこと」でした。先輩の先生方は、話がとても上手で、その的を射た話しぶりに憧れをもっていました。「自分も、あんなふうに上手に話ができるようになりたい…」と思っていましたが、どうすれば話が上手になるかわかりませんでした。そんな私ですから、個人面談で保護者の方と話すのも苦手でした。ですから、個人面談では、あらかじめ話す内容を書き出し、それを伝えていました。今思えば、それは手紙でも同じ効果が得られたことです。教員 2 年目の時に、とてもよく話す保護者の方がいました。はじめから最後までずっと話し続けています。私はその話をずっと聞いていました。時々「そうですか。」とか「なるほど」というくらいで、時間があっという間に過ぎ去りました。その時、「これだ！」と思いました。これまでは、苦手を克服し話し上手になろうと考えていましたが、相手に話をしてもらう、相手の話を引き出す「聞き上手」を目指すことにしました。

「聞き上手」を目指すということで、「相手の人は今、何を考えているのだろう」と相手の気持ちを考えるようになりました。「話し上手」を目指していた時は、自分が何を話すかという自己中心的な考えでしたが、「聞き上手」を目指す**と相手意識を大切に**するようになりました。すると、不思議なことに、相手に伝えることが頭の中に浮かんでくるようになりました。

これからは予測が困難な時代となり、コミュニケーション能力が必要だと言われています。コミュニケーションで大切な事は、**相手意識**です。稲荷木小のみなさんには、相手を大切に思う心磨き、自分では経験したことのない考え方や行動の仕方をする人たちとも心を通わせることができる人間に成長してほしいと願っています。



☆市内小学 6 年生対象児童アンケート

年末に市内全 39 校の小学 6 年生を対象にしたアンケートが実施され、その記録が公表されました。その中で、特徴的なものについてお知らせします。

設問 1 友達と話し合うとき、友達の話を受け止めて自分の考えを持つことができますか。

	(稲荷木小)	(市内平均)
当てはまる	53%	43%
どちらかといえば当てはまる	42%	50%

本校の児童は、相手を受け止めた上で自分の考えをもつ「伝え合い」の精神が育っているといえます。

設問 3 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか。

	(稲荷木小)	(市内平均)
当てはまる	35%	28%
どちらかといえば当てはまる	54%	53%

机上の学習に終わらず、学びを生かしていこうとする姿勢は素晴らしいですね。

設問 9 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

	(稲荷木小)	(市内平均)
当てはまる	62%	43%
どちらかといえば当てはまる	36%	43%

人間関係を作るうえでの基本ですから、誇れるデータだと思います。

設問 10 給食を楽しんで食べていますか。

	(稲荷木小)	(市内平均)
当てはまる	74%	60%
どちらかといえば当てはまる	23%	26%

残菜率も減少したデータもあります。やはりうれしい結果です。

設問 2 読書は好きですか。

	(稲荷木小)	(市内平均)
当てはまる	36%	41%
どちらかといえば当てはまる	32%	31%

読書よりメディア？読書の楽しさを実感できる取り組みを充実させていこうと思います。

設問 7 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事についてみたいと思いますか

	(稲荷木小)	(市内平均)
当てはまる	13%	16%
どちらかといえば当てはまる	15%	20%

本校の児童は、少し内弁慶？グローバルな視野を育てたいですね。